

【外国人雇用にあたって】

以下に外国人を店舗で雇入れる場合の注意事項等を簡単にまとめました。
外国人雇用にあたっての最低限の知識として、十分確認し対応を図って下さい。

まず、最初に．．．
外国人は雇用前に働いていいかどうか確認する事項がいくつかあります。
場合によっては雇用できない場合もあります。
採用する前に、必ず関東事務所 総務課までご照会下さい。

□雇入れる場合の確認すべき書類

通常必要な、履歴書以外に、

①**パスポート、ビザ**．．．ビザはパスポートに貼付されてます。

在留期間を十分に確認して下さい。

②**外国人登録証明書**．．．カード式です。在留資格、在留期間を十分に確認して下さい。

偽造に注意。

と、留学生・就学生・家族滞在の資格の場合は、

③**資格外活動許可書**．．．B5サイズの厚紙またはパスポートに貼付けされています。

こちらも許可期限切れ&偽造に注意して下さい。

【外国人雇用時の提出書類（お願い）】

履歴書に加え、

【外国人全員】**パスポート写し（前頁分）、外国人登録証明书写し（両面）**

【留学生、就学生】上記プラス**資格外活動許可書（原本が望ましい）、学生証写し**
の提出をお願いします。

□在留資格について ※外国人登録証明書によって確認できます。

資格は、大きく①日本での就労が制限なく認められている資格②就労に一定の制限がある資格
③就労不可の資格に分かれます。

具体的には、

①日本での就労が制限なく認められている資格

⇒**永住者、定住者、日本人の配偶者等**、永住者の配偶者等

②就労に一定の制限がある資格

⇒技能、技術、教育、研究、外交、宗教、芸術等

③就労不可の資格

⇒**留学、就学、家族滞在**、文化活動、短期滞在、研修

となります。

□資格外活動許可書について

留学、就学、家族滞在の資格の方を雇入れる場合は、必ず資格外活動許可書が必要となります。
留学、就学の場合は、在籍する学校での取り次ぎも可能と思われますので、本人に確認させて下さい。書類上は入国管理局の承認を経て本人に渡ることになります。
提示を受けた場合、少なくとも、本物かどうか確認し、コピーを受け取ってください。
また、期限が切れているもしくは切れた場合は即時に更新手続きをさせて下さい。

※労働時間の制限：週 28 時間 但し、長期休業期間の場合は 1 日 8 時間以内
⇒資格外活動許可書に記載されています。

□不法就労について

不法就労とは、

①許可を受けずに在留資格で認められた活動範囲を超えて就労を行う場合

例) 留学生が資格外活動の許可を受けずにアルバイトする。

②在留資格を持たずに、あるいは在留期限が切れた後も滞在して就労を行う場合

例) 不法在留（オーバーステイ）の外国人が就労する。

ことを言います。

罰則は、

上記外国人を雇った場合、業として外国人に不法就労させた場合はその者は 3 年以下の懲役または 200 万円以下の罰金に処せられます。

また、不法就労を行ったり不法に滞在している外国人は、日本から強制退去されるほか 3 年以下の懲役もしくは禁錮または 30 万円以下の罰金に処せられます。

罰則について決して軽くは無いことを認識してください！

以 上